



重要なお知らせ
 MSN コミュニティ サービスは、2009 年 2 月をもちまして終了させていただきます。MSN のオンライン コミュニティ パートナーである Multiply にコミュニティを移行できます。詳細については、こちらをご覧ください。

- 新着情報
- 今すぐ参加
- Migration Message
- 文法レベルでの自然
- 定義の更新
- 中心問題群
- 中心問題解決案
- 思索の歴史
- 国際文法裁判所
- 標準の掲示板
- 物理論理学
- 宇田雄一語録
- パンドラの電腦言語考
- Web リンク集
- [ツール]

☆ **定義の更新: 温故知新**
 掲示板の一覧を表示

◀ 前の話題 次 の話題 ▶ 返信を受信トレイに送信

返信	おすすめ	メッセージ 1 / 1
<p>投稿者: SourceCodeOf HumanGenome (元のメッセージ) 投稿日時: 2005/07/08 23:27</p> <p>物理学方法論としての文法主義は、温故知新を旨とします。</p> <p>つまり、今までに起こった物理学の発展を、可能な限り文法の発展と解釈し直し、そこから文法の発展のエッセンスを学び取り、それを新しい文法の考案につなげて行くのです。</p> <p>このような事は、物理学の発展の歴史的事例が既にたくさん蓄積されている現代だからこそ出来ることであって、おそらくアインシュタインの時代にはまだ不可能だったでしょう。</p> <p>物理学方法論としての温故知新は、文法主義を一部として含みますが、文法主義よりももっと包括的な方針です。</p> <p>しかし、温故知新は、文法主義ぐらいに過去の事例を甚だしく拡大解釈するものでない限りは、単なる 2 番煎じに成ってしまいます。</p> <p>時空の次元として 4 より大きなものを考えたから、アインシュタインを超えた、式の発想は、この点を理解してないが故の発想です。</p> <p>4 次元時空の概念が確立した、という歴史的事実を、我々の住んでいる空間として 3 より大きな次元の空間を考える事、という風に拡大解釈するならば、4 より大きな次元の n 次元時空を考えることは、4 次元時空の 2 番煎じに過ぎないのです。</p> <p>2 番煎じは、2 番煎じだから間違ってる、とは言えないので、文法主義以外の温故知新も出来るだけすべきです。</p>		

◀ 最初の返信 ◀ 前へ 返信なし 次へ ▶ 最新の返信 ▶

注意: Microsoft は、このコミュニティの内容について、一切の責任を負いません。ここをクリックすると、詳細情報が表示されます。